

令和2年度
2月号

幼稚園だより



令和3年1月29日
文京区立湯島幼稚園

「表現する喜び」

副園長 工藤 真規子

日本列島に寒気が立て続けに来て、身を切るような寒さの毎日です。そんな中でも、元気に園庭に駆け出していく子どもたち。凧揚げやサッカー、縄跳び、しっぽ取り、鬼遊び、三輪車やキックスケーターなど、息を白く吐きながら体を動かす遊びを楽しんでいます。「おでこをぶつけたの」と手当てに来た子どものカラー帽子を脱がせると汗びっしょりで、運動遊びをするとこんなに体が温まるということに、改めて気付かされました。

さて、各学級では、2月の最後の大きな行事であるキッズフェスタ part2（劇遊びの発表会）に向けて、取り組んでいるところです。本園の劇・劇遊びは「セリフや動きをたくさん覚えて発表する」劇とは少し違います。お話の世界を味わい、役になりきって表現をしたりやりとりしたりすることを楽しむ経験を大切にしています。

もも組の劇遊びは、いろいろな動物になって「いーれーて」「いいよ」のやりとりを楽しんでいます。てぶくろの中に動物たちがだんだん増えていくことが面白いようです。

ばら組の劇遊びは、それぞれが自由に動くところと同じ役の友達と一緒に動くところ、どちらもその子らしさが表れています。ばら組の好きな遊びがたくさん詰まっています。

ゆり組になると、劇の内容を決めるところから話し合い、決めていきます。考えたことを言葉で友達に伝え、互いの考えを受け入れたり調整したりしてまとめていきます。また、これまでに身に付けた技術を使って劇に必要な衣装や道具などを作っていきます。それぞれの知識、技能を生かしてみんなで劇を作り上げる、幼稚園生活の集大成となる劇になることでしょう。

今年度は6月から幼稚園生活が始まりましたが、どの学級にもこの一年の育ちが大きく感じられます。お子さんの頑張っていることを受け止め、励ましの言葉を掛けていただけたらと思います。

